

水稻新品種「熊本2号」の特性

農業研究センター 農産園芸研究所 作物部

担当者：泉 恵市

研究のねらい

本県の「平坦地域」及び「海岸島しょ地域」の普通期栽培の基幹品種であった「ヒゴノハナ」は、外観品質は良好であるが、食味が不十分であり作付面積は激減している。また、「つぶより」は粒厚が薄く、腹白粒の発生等品質・収量が不安定である。

そこで、これらに替わり、晩生の極良食味品種「ユメヒカリ」と組合せ可能な品種として、中生で収量性が安定した、極良食味の「熊本2号」を育成した。

研究の成果

1 来歴

中生の栽培特性に優れた極良食味品種を育成目標に、熊本県農業研究センター農産園芸研究所において、中生、極良食味の「ヒノヒカリ」を母、極早生、極良食味の「コシヒカリ」を父とした人工交配による組合せから育成された。

2 特性概要

- (1) 出穂・成熟期は「ヒゴノハナ」「つぶより」より4~6日早い中生種である。
- (2) 稈長は「ヒゴノハナ」「つぶより」よりやや高く、穂長は「つぶより」より短く「ヒゴノハナ」と同程度である。
- (3) 収量性は「つぶより」よりやや多収で、「ヒゴノハナ」とほぼ同程度である。
- (4) 玄米は腹白、心白、乳白の発生が少なく、粒揃いも良く、外観品質は良好である。
- (5) 耐病性は、いもち病には「ヒゴノハナ」よりやや弱く、白葉枯病には「ヒゴノハナ」と同程度である。
- (6) 耐倒伏性は「ヒゴノハナ」よりやや弱く、「ヒノヒカリ」並である。
- (7) 搗精歩合及び白米白度は「ヒゴノハナ」並に高い。
- (8) 食味は「ヒゴノハナ」「つぶより」より明らかに優れ、「ヒノヒカリ」より優れる極良食味である。

普及上の留意点

- 1 平坦地域及び海岸島しょ地域を中心とした普通期栽培用品種として、「ヒゴノハナ」「つぶより」に替えて作付する。
- 2 いもち病にやや弱いので、適期防除に努める。
- 3 耐倒伏性がやや弱いので、極端な多肥栽培を避ける。
- 4 品質・食味の維持を図るため適期刈取りに努める。

表1 生育・収量

試験場所	品種名 系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/ ㎡)	倒伏 程度	穂い もち	玄米重 (kg/a)	同左 対比	千粒重 (g)	検査 等級
農 産 園 芸	熊本2号	8.28	10.17	78	19.9	359	0.0	1.3	54.4	102	22.4	2.6
	標) ヒノヒカリ	8.27	10.16	81	19.5	363	0.0	1.4	53.5	(100)	22.3	3.3
	比) ヒゴノハナ	9.2	10.23	76	19.9	388	0.0	1.0	55.4	104	22.7	2.0
	比) ユメヒカリ	9.6	10.28	78	19.9	352	0.0	1.3	53.9	101	22.0	2.8
横 島 町	熊本2号	8.27	10.10	87	18.8	449	0.3	0.8	58.5		22.3	3.5
	比) ヒゴノハナ	9.2	10.17	81	18.4	475	0.0	0.0	65.3		22.8	3.0
	比) つぶより	8.30	10.13	84	21.6	417	0.0	0.5	56.8		21.9	3.5

注) 農産園芸は平5~8年の平均。横島町は平7~8年の平均。

表2 搗精特性

品種名 系統名	水分 (%)	搗精歩合(%)			白米白度(%)		
		25	30	35(秒)	25	30	35(秒)
熊本2号	13.7	92.1	91.3	90.4*	35.8	38.1	39.8*
標) ヒノヒカリ	13.5	91.6	90.7	89.8*	35.8	37.6	38.7*
比) ヒゴノハナ	13.5	92.1	91.2	90.5*	36.5	38.3	40.0*

注) 平成6~7年の平均。*は適搗精を示す。(秒)は搗精時間。

表3 食味官能評価

場所	実施時期	基準品種	総合	外観	香り	味	粘り	硬さ	パネル数
育 成 地	H6.1.17	ヒノヒカリ	+0.406*	+0.750*	+0.563*	+0.469*	+0.438*	+0.313	32
	H7.12.25	"	+0.550*	+0.250	0.000	+0.300*	+0.150	-0.150	28
	H8.12.22	"	+0.708*	+0.625*	-0.125	+0.458*	+0.417*	-0.125	32
穀 検	熊本2号	日本晴(滋賀)	+0.300*	+0.250	+0.100	+0.350	+0.200	-0.100	農産産
	ヒノヒカリ	"	+0.050	+0.100	+0.050	+0.050	+0.250	-0.200	"
	熊本2号	"	+0.450*	+0.500	+0.200	+0.500	+0.250	-0.300	城南産
	ヒノヒカリ	"	+0.300*	+0.300	+0.050	+0.300	+0.200	-0.300	"

注) *は95%信頼限界で基準米と有意差があることを示す。穀検は平成7年産。



写真1 株標本

(左:熊本2号 中:ヒノヒカリ 右:ヒゴノハナ)

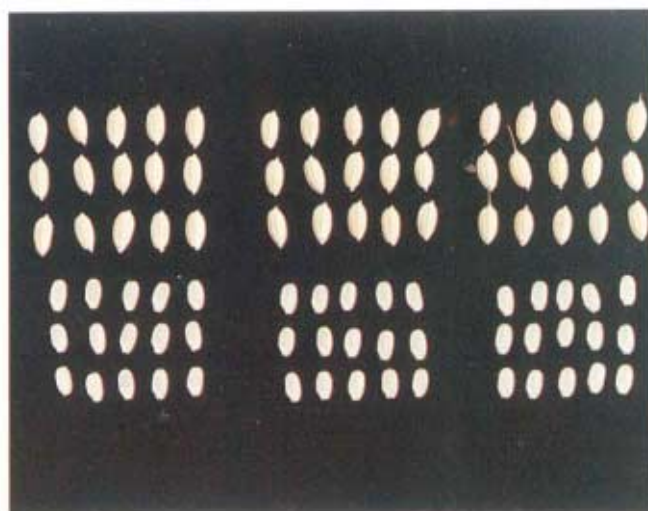


写真2 籾・玄米標本

(左:熊本2号 中:ヒノヒカリ 右:ヒゴノハナ)